

2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,707	12.2	△31	—	△28	—	△31	—
2023年6月期第1四半期	1,522	17.4	△38	—	△35	—	△39	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △30百万円(—%) 2023年6月期第1四半期 △37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△7.66	—
2023年6月期第1四半期	△9.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	2,493	474	19.0
2023年6月期	2,462	545	22.2

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 474百万円 2023年6月期 545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	13.58	13.58

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,600	2.9	150	20.6	150	11.0	110	23.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期1Q	5,076,000株	2023年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	1,026,552株	2023年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期1Q	4,049,448株	2023年6月期1Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の正常化が進んだものの、エネルギー価格の高騰に伴う世界的なインフレ加速や急激な為替変動、ウクライナ危機の長期化等により依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは最終年度を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、各事業ともに売上・利益ともに増加し、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,707,717千円(前年同期比12.2%増)、営業損失は、31,081千円(前年同期は38,501千円の損失)、経常損失は28,165千円(前年同期は35,831千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,002千円(前年同期は39,122千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、882,863千円(前年同期比8.0%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2023年7月から2023年8月までの売上高は増加、取扱件数は横ばいで推移し、コロナ禍の影響が残っていた前年同期比では増加傾向で推移し、葬儀単価につきましても持ち直し傾向で推移しています。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売等を実施してまいりました。その結果、営業利益は49,401千円(前年同期比34.4%増)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては販売数量の増加や円安、夏場の高温を受けた生育不良等による供給不足が影響し販売単価が上昇したことにより、売上高は625,737千円(前年同期比17.3%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2023年9月)によると、2023年7月から2023年9月までの切花累計の取扱金額は17,409百万円(前年同期比0.4%増)、数量では209百万本(前年同期比6.1%減)と1本あたりの単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施した結果、営業利益は10,613千円(前年同期比5.7%増)となりました。

#### (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かう中、1組あたりの単価が回復傾向にあり66,502千円(前年同期比2.8%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深堀による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大に取り組んでまいりました。その結果、営業損失は6,611千円(前年同期は8,867千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、総じて堅調に推移したことから、売上高は132,614千円（前年同期比24.5%増）、営業損失は1,953千円（前年同期は8,201千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ31,021千円増加し、2,493,111千円となりました。これは主に、売掛金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ101,774千円増加し、2,018,408千円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ70,752千円減少し、474,703千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	954,898	838,883
売掛金	538,807	657,192
商品	37,132	49,288
仕掛品	2,064	5,403
原材料及び貯蔵品	36,478	34,678
その他	60,731	71,709
貸倒引当金	△3,490	△3,842
流動資産合計	1,626,621	1,653,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	656,264	656,267
減価償却累計額	△335,428	△339,863
建物及び構築物(純額)	320,836	316,403
車両運搬具	20,853	30,347
減価償却累計額	△20,255	△20,611
車両運搬具(純額)	598	9,735
工具、器具及び備品	151,199	151,605
減価償却累計額	△140,545	△140,122
工具、器具及び備品(純額)	10,653	11,482
土地	221,424	221,424
建設仮勘定	282	2,279
その他	15,969	15,946
減価償却累計額	△12,385	△12,580
その他(純額)	3,583	3,366
有形固定資産合計	557,378	564,691
無形固定資産		
のれん	6,674	6,257
その他	1,135	1,476
無形固定資産合計	7,809	7,734
投資その他の資産		
差入保証金	53,884	54,292
保険積立金	189,700	189,700
破産更生債権等	15,284	15,284
その他	23,354	23,379
貸倒引当金	△11,942	△15,284
投資その他の資産合計	270,280	267,372
固定資産合計	835,469	839,798
資産合計	2,462,090	2,493,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	181,462	305,554
短期借入金	350,000	390,000
1年内返済予定の長期借入金	173,729	154,262
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	82,913	86,080
未払法人税等	27,344	5,564
未払費用	119,543	109,875
賞与引当金	851	29,423
資産除去債務	10,000	10,000
その他	93,982	109,425
流動負債合計	1,059,826	1,220,185
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	683,448	626,167
リース債務	73	7,092
退職給付に係る負債	76,013	77,690
資産除去債務	17,272	17,272
固定負債合計	856,806	798,222
負債合計	1,916,633	2,018,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	144,268	144,268
利益剰余金	416,560	345,771
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	545,434	474,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	58
その他の包括利益累計額合計	22	58
純資産合計	545,456	474,703
負債純資産合計	2,462,090	2,493,111

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,522,547	1,707,717
売上原価	1,357,654	1,517,084
売上総利益	164,893	190,633
販売費及び一般管理費	203,395	221,714
営業損失(△)	△38,501	△31,081
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	24
為替差益	-	968
受取賃貸料	254	385
補助金収入	4,921	1,593
その他	2,205	2,630
営業外収益合計	7,390	5,602
営業外費用		
支払利息	2,200	2,591
為替差損	2,411	-
その他	109	95
営業外費用合計	4,720	2,686
経常損失(△)	△35,831	△28,165
特別利益		
固定資産売却益	18	320
投資有価証券売却益	20	-
特別利益合計	38	320
特別損失		
リース解約損	1,230	102
特別損失合計	1,230	102
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,023	△27,947
法人税、住民税及び事業税	3,383	3,054
法人税等還付税額	△2,544	-
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	838	3,054
四半期純損失(△)	△37,862	△31,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,260	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,122	△31,002



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△37,862	△31,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	36
その他の包括利益合計	67	36
四半期包括利益	△37,795	△30,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,055	△30,966
非支配株主に係る四半期包括利益	1,260	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月28日 定時株主総会	普通株式	34,541	8.53	2022年6月30日	2022年9月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月27日 定時株主総会	普通株式	36,445	9.00	2023年6月30日	2023年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	817,766	533,616	64,676	1,416,059	106,488	—	1,522,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,350	267,393	442	269,185	15,672	△284,858	—
計	819,116	801,009	65,118	1,685,245	122,161	△284,858	1,522,547
セグメント利益 又は損失(△)	36,768	10,043	△8,867	37,943	△8,201	△68,244	△38,501

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,244千円には、セグメント間取引消去14,414千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,658千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	882,863	625,737	66,502	1,575,103	132,614	—	1,707,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,874	262,451	535	264,861	7,829	△272,690	—
計	884,738	888,188	67,037	1,839,965	140,443	△272,690	1,707,717
セグメント利益 又は損失(△)	49,401	10,613	△6,611	53,404	△1,953	△82,532	△31,081

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,532千円には、セグメント間取引消去14,129千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,661千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## (重要な後発事象)

当社は、2023年10月23日開催の取締役会において、下記のとおり、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株処分」といいます。）を行うことについて決議いたしました。

## 1. 処分の概要

(1) 処分期日	2023年11月22日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 7,900株
(3) 処分価額	1株につき1,253円
(4) 処分総額	9,898,700円
(5) 処分先及びその人数 並びに処分株式の数	当社の取締役(※) 5名 7,900株 ※社外取締役を除く。

## 2. 処分の目的及び理由

当社は、2023年9月27日開催の当社第27期定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役を除く。）が当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入すること並びに本制度に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額90百万円以内として設定すること、当社の取締役（社外取締役を除く。）に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は180,000株を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間を譲渡制限付株式の交付日から当社及び当社取締役会が定める当社子会社の取締役のいずれの地位からも退任する日までの間とすること等につき、ご承認をいただいております。